

前田 専學著「インド思想入門—ヴェーダとウパニシャッド—」春秋社 2016年8月18日刊を読む

インド

1. (1)インドの人々は、英語で自分の国を呼ぶときには「インディア」といいますが、ヒンディー語では「バーラト」(Bhārat)と呼んでいます。
(2)バーラトは、「バーラタヴァルシャ」(Bhāratavarsa)の略称で、これは古代インドの言語サンスクリット語で、「バラタ族の国土」を意味しています。
(3)インド政府発行の切手などでは、英語の India と並べて、ヒンディー語を表記するのに用いるデーヴァナーガリーという文字で Bhārat と書かれています。
2. (1)バラタは、古代インドで勇名を馳せた伝説的な帝王であり、この王の子孫はバラタ族(バーラタ)と呼ばれました。
(2)インドの国民的大叙事詩『マハーバーラタ』は、このバラタ族の領土にまつわる親族(クル族とパンドゥ族)の間の紛争を題材にしたものです。バラタ王あるいはバラタ族の名にちなんで、古代からインド亜大陸はバーラタヴァルシャと呼ばれてきました。
3. (1)「インディア」という呼称は、じつは現在のパキスタンを貫流しているインダス河に由来しているのです。
(2)インダス河は、サンスクリット語で「シンドウ」(Sindhu)と呼ばれていますが、この名がペルシャ語に入って s が h に変わって「ヒンドウ」(Hindu)となり、さらにギリシャ語に入って「インドス」(Indos)となり、それから英語「インディア」などの西洋の近代の諸語となったのです。
4. (1)①インドとパキスタンは、1947年に分離独立しましたが、
②この「インディア」という呼称は、本来両国が地理的にも歴史的にも不可分離の関係にあることを示唆しています。
(2)①インドとパキスタンの今日の不幸な関係の最大原因の一つは、
②不可分離の関係にあるにもかかわらず、
③独立の父マハートマ・ガンディーの意に反して、
④多数の犠牲者を出してまでも、
⑤政治力学によって無理矢理に分離させられたところにあるように思います。
5. (1)本書で用いる「インド」は、分離独立以前のインドを意味し、
(2)現在のインドのみならず、
①パキスタン・イスラム共和国、
②バングラデシュ人民共和国、

- ③ネパール連邦民主共和国、
- ④スリランカ民主社会主義共和国などを含む、
- ⑤南アジアと呼ばれる地域を指しています。

P3 ~ 4

<コメント>

1. (1)インドは英語で India. ヒンドゥー語で Bharat(バーラト)
(2)Bharat(バーラト)は、Bharatavarusa(バーラタヴァルシャ)の省略で、サンスクリット語(古代インドの言語)で「バラタ族の国土」の意。
2. (1)バラタは古代インドの帝王、この王の子孫は、バラタ族(バーラタ)と呼ばれた。
(2)バラタ王あるいはバラタ族にちなんで、古代からインド亜大陸は Bharatavarsa(バーラタヴァルシャ)と呼ばれてきた。
3. (1)インダス川はサンスクリット語で Shindu(シンドゥ)と呼ばれている。
(2)これがペルシャ語に入り Hindu(sがhに変わる)
(3)さらにギリシャ語に入り Indos(インドス)に
(4)英語の India(インディア)に
インドの奥深さは、インドという名称の変遷からもうかがい知れる。

— 2017年12月16日(土) 林明夫 —